

(11)学芸員課程科目

2VV101 博物館概論

【到達目標】

- ・現在の博物館を取り巻く諸事情・経緯などに関する基礎的知識について理解する。
- ・博物館に関する専門事項を学ぶ上での基礎となる能力を習得する。

【概要】 博物館は、人間と人間を取り巻く環境に関する様々な「もの」を収集し、保存・調査・研究して、公開・活用している。こうした博物館に関する基礎知識、すなわち、博物館の意義と役割について学ぶ。博物館の定義・種類・歴史、さらに博物館関係法令や博物館学の役割などを順を追って学んでゆく。

2VV102 博物館資料論

【到達目標】

- ・博物館資料に関する基礎的知識について理解する。
- ・博物館資料の収集、整理、調査・研究、展示、情報発信について、博物館運営全体の中でのそれぞれの役割を理解する。

【概要】 博物館はさまざまな資料を収集し、整理・分類・調査・研究し、保存・活用している。資料の収集では、購入・寄贈・借用・採集など具体的方法を学ぶ。資料の分類・整理では、多様な資料の分類と整理、そして調査・研究を経て、目録や図録の作成と情報発信に至るまでを学ぶ。なお、資料の保存は「博物館資料保存論」で、資料の活用は「博物館展示論」で主に展開される。

2VV103 博物館経営論

【到達目標】

- ・博物館経営の基本的な仕組みについて理解する。
- ・社会と博物館との関係の築き方について、博物館経営の視点からその現状と課題について理解する。

【概要】 博物館を運営するための基本的な仕組みを学ぶ。博物館運営の枠組は大きくは①予算、②組織（人事）、③施設などからなり、その運営にあたっては、会社や学校などとは異なる博物館特有の問題がある。こうした点を踏まえながら博物館運営の特質を学ぶ。社会と博物館との関係の築き方については、展示はもとより、様々な関連イベント、利用者との関係づくりなど、様々な事業活動がある。博物館経営の視点からそれら事業活動の現状と課題について学ぶ。

2VV104 博物館資料保存論

【到達目標】

- ・博物館における資料保存及びその保存・展示環境及び収蔵環境を科学的に捉え、資料を良好な状態で保存していくための知識について理解する。
- ・博物館の資料保存・管理活動に関する専門事項を学ぶ上での基礎となる能力を習得する。

【概要】 温度・湿度・照明・大気などが資料の保存にどのような影響を与えるかを学び、同時に対策を考える。同じく生物が資料に与える害と対策を学ぶ。そして、資料保存の歴史と意義、さらに資料の修復や複製品の製作、屋外の文化財の保存や災害の防止と対策などを学ぶ。

2VV105 博物館展示論

【到達目標】

- ・博物館の展示活動に関し、その理論や実際の事業の流れ等を踏まえながら、体系的に博物館展示の基礎知識について理解する。
- ・展示を実施するという視点に立ち、情報発信を行うにあたって自分なりに持つべき見解を養う。

【概要】 博物館のもつ外的事業の軸となる展示活動について、①企画・立案、②資料の選択、③展示案の確定、④解説プレート・図録の作成、⑤会場の設営、⑥展示の実行、⑦関連事業、⑧広報、⑨後片付けなど、一つの展示達成のための作業を逐一詳しく学ぶ。同時に関連事業やイベントの在り方、ボランティアの活用など、市民参加の展示活動の実態についても学ぶ。

2VV106 博物館教育論

【到達目標】

- ・博物館における「学び」や学芸員の教育活動について、その理論や実践に関する知識と方法を理解する。
- ・教育一般と学校教育の在り様を踏まえながら、博物館の教育機能に関する基礎的知識を理解する。

【概要】 博物館における教育の意義と理念を学ぶ。学びの場としての博物館は、実物を見ることができること、体験できることという利点をもっている。学校教育との連携や多様化しつつある教育のあり方の中で、博物館が担うべき部分の工夫と創造を模索する。

2VV107 生涯学習論

【到達目標】

- ・生涯学習社会・社会教育が果たす意義とその構築に向けての課題について理解する。
- ・生涯学習社会が実現していくための法制度・行政・施策の実際を踏まえながら、家庭教育・

学校教育・社会教育等との関連、専門的職員の役割、学習活動への支援等を理解するための基礎的な認識と能力を習得する。

【概要】 生涯学習の意義を考えつつ、老人・主婦・サラリーマン・学生など全ての人々の学習の場のあり方を、国内外の具体例を検証し、学ぶ。また、公民館職員・図書館司書・博物館学芸員など社会教育に携わる人々の役割と使命を考える。

2VV108 博物館情報・メディア論

【到達目標】

- ・博物館における情報の意義と活用方法及び情報発信の課題等について理解する。
- ・博物館の情報の提供と活用等に関する基礎的能力を習得する。

【概要】 博物館における情報・メディアの意義および情報発信の課題を学ぶ。併せて、さまざまな情報を掴みとること、および、視覚をはじめ人間のもつ五感に訴える効果的・効率的な情報機器の活用法を学ぶ。これらの学習をとおして博物館の情報の提供と活用等に関する基礎的な能力を養う。

2VV201 博物館実習 1

【到達目標】

- ・資料の取り扱い方の基本を中心として学び、学芸員の行う諸業務について体験的に習得する。
- ・様々な館種の博物館見学を通し、現在の博物館の実態と課題について体験的に習得する。

【概要】 資料の取り扱い方に関する基本的知識・技術の習得を目標として、巻物や掛け軸遂行力を実習をとおして養う。これら個々の作業や実務は一見独立しているかに見えるが、実際には博物館活動の中では相互に関連している。こうした博物館実務の一端と相互の関連性を実習を通じて学ぶ。また、博物館運営の現状についてより深く理解するために、様々な館種の博物館見学を行い、博物館の諸業務の実態と課題を学ぶ。

2VV202 博物館実習 2

【到達目標】

- ・博物館実習 1 を踏まえ、資料の取り扱いをとおした博物館の諸事業について学び、学芸員の行う諸業務を体験的に習得する。
- ・様々な館種の博物館見学を通し、現在の博物館の実態と課題について体験的に習得する。

【概要】 博物館実習 1 の授業内容を踏まえ、資料の取り扱いをとおした博物館の諸事業、たとえば展示の企画立案・広報・関連事業などの諸業務の遂行力を実習をとおして養う。これら個々の作業や実務は一見独立しているかに見えるが、実際には博物館活動の中では相互に関連している。こうした博物館実務の一端と相互の関連性を実習を通じて学ぶ。また、博物館運営の現状についてより深く理解するために、様々な館種の博物館見学を行い、博物館の諸業務の実態と課題を学ぶ。

2VV203 博物館実習 3

【到達目標】

- ・館園実習により、博物館学芸員の業務の実際を現場体験し、職務遂行にあたっての実践的能力を習得する。
- ・館園実習での現場体験を通し、現在の博物館の置かれた諸問題を体験的に習得する。

【概要】 本授業は、①実際の博物館現場における 7～10 日程度の博物館実務実習（館園実習）、②学内における事前・事後指導の授業、③個別の指導によって構成される。博物館実務の一端は「博物館実習 1・2」で習得しており、この授業では実際の博物館の現場において、諸業務の実際を現場体験することで、運営実務の実践的能力を習得する。実習期間中は担当学芸員の指導を受けつつ実務を学び、実習ノートを作成して担当学芸員に提出し、その指導を受け、翌日には改善するなど積極的に学ぶようにする。学内においても実習効果を高めるため事前・事後指導の授業、個別指導を行う。